

新型コロナウイルス垂直感染予防対策としての母子分離と母乳禁止が、
隔離解除後の母乳育児確立に与える栄養に関する研究とお願い

【研究課題】 新型コロナウイルス垂直感染予防対策としての母子分離と母乳禁止（禁乳）が、
隔離解除後の母乳育児確立に与える影響に関する研究

【研究目的】

日本新生児成育医学会では「新型コロナウイルス感染予防対策を講じれば、母子同室も検討しうる」とされ、「母乳には活性のあるウイルスは存在しない」として直接授乳、搾乳の方法が紹介されています。しかし、感染対策がどこまで徹底できるのか、万が一母子感染がおこった場合対処ができるのか、などの疑問から、現実には母子分離や禁乳を行っている施設も多いと推測されます。当院でも、新型コロナウイルス感染予防のために母子分離と禁乳を行っております。

一方で、出産後早期からの母子同室と授乳は、母乳育児を進めるためにすごく有利な方法です。母子同室をせず、禁乳を行った場合、新型コロナウイルス感染は予防できたものの、感染隔離解除後の母乳育児確立に影響が出ているのではないかと推測されます。

そこで、当研究では、新型コロナウイルス感染予防のために母子同室をせず、禁乳を行ったお母さんと赤ちゃんが、それ以外のお母さん、赤ちゃんに比べてどのくらい母乳育児がしにくかったかを調べることを目的としました。

【研究方法】

カルテのあなたと赤ちゃんの以下のデータを、解析に使用させていただきたいと存じます。

- 1) 出産時の年齢、2) 初産か経産か、3) 経産の場合は前回母乳育児だったかどうか、
 - 4) お産の方法、5) お生まれになった週数と日数、6) 赤ちゃんの出生体重、
 - 7) 新型コロナウイルス感染の状況、8) 母子同室をしなかった日数、9) 1か月健診の時の栄養方法
- 以上、1) から 9) までのデータを使い、新型コロナウイルス感染予防策が1か月健診の時に母乳育児だったかどうかに影響を及ぼしているかどうかを解析します。

【研究対象となる方】

2022年1月1日から2023年1月31日までにご出産されたお母さんと赤ちゃんが対象です。

【研究に参加していただいた場合の利益・不利益】

研究に参加していただいてもいただかなくても、診療内容に変化はありません。また、この研究に参加していただいても、謝礼はいたしません。以上、研究に参加していただいた場合に、利益・不利益は生じません。

【研究にかかる費用】

カルテのデータを解析する研究ですので、費用のご負担は一切ありません。

【個人情報保護について】

いただいた全てのデータに通し番号を振り、どなたのデータか分からないようにします(匿名化と言います)。その状態にしたデータ(二次データと言います)を、解析用に用います。

【研究成果の発表】

研究成果を学会、論文等で発表する計画ですが、その際も個人が特定される情報は一切公表いたしません。

当研究に関するお問い合わせは、研究責任者までお願いいたします。

研究責任者 愛賛会浜田病院小児科 黒須英雄